

「日々の理科」(第 4187 号) 2026, -1, 26

「山梨県扇山の山火事(1)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

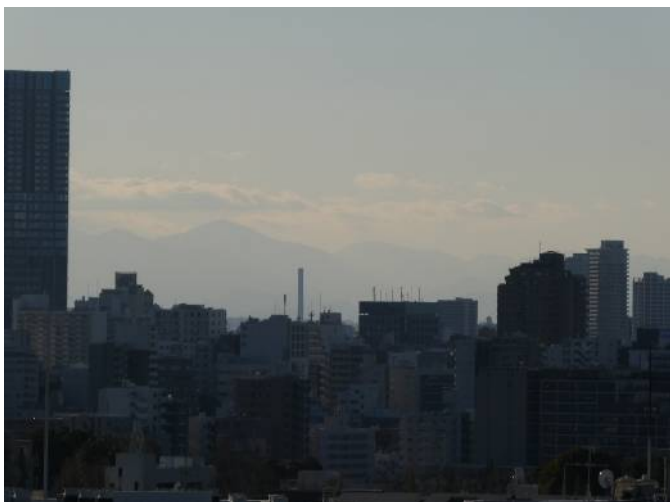
田中 千尋 Chihiro Tanaka

1月上旬に発生した、山梨県扇山(おうぎやま)山麓の山火事(山林火災)は、かなり大々的に報道されたので、多くの方々の関心事となりました。私は小学生の頃八王子市に住んでいて、扇山には何度も登ったことがあります。その「思い出の山が燃えている」というので、無性に心配になりました。



(衛星画像/気象庁)

大規模な山火事は、時には宇宙からも見えることもあります。気象衛星「ひまわり」は、解像度が向上し、今回の山火事の煙もとらえていました。



X上では「横浜市からも火災の煙を目視できた」という投稿もありました。それなら都内からも見えるかも知れないと思い、大学で一番高い建物の屋上から眺めてみましたが、双眼鏡でかすかに見える程度で、写真には写っていませんでした。

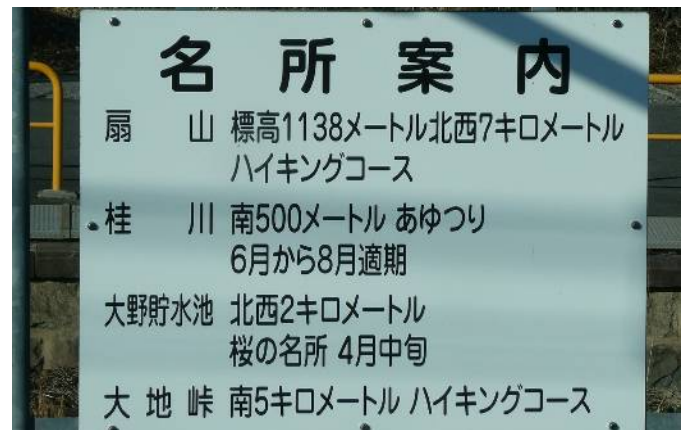
私はやはり現地で確かめたいと思い、1月中旬の日曜日に、中央本線の電車に乗って扇山に向かうことにしました。



立川〜日野間で多摩川を渡ります。遠くに関東山地の山々が見えます。雲取、飛竜、小金沢連嶺など、かつて登った山々が見えましたが、さすがにここからは火災の煙は見えませんでした。



扇山の最寄駅(登山口)は、中央本線の四方津駅(しおつえき)です。四方津駅前からは、高台の住宅地につながる珍しい「斜行エレベーター」が伸びています。住民でなくても誰でも無料で乗れます。



駅ホームの「名所案内」にも「扇山」が一番上に載っています。ほとんど知られることもなかった扇山も、妙なことですっかり有名になってしまいました。